

〔問1〕

次の（1）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問2〕

次の（1）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問3〕

次の（1）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問4〕

次の（1）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問5〕

大阪府内には、ため池、水路やポンプ施設などの農業水利施設が数多く存在し、これらの施設は農業振興に不可欠な基本インフラであるとともに、豪雨時における都市部での浸水被害を防ぐなどの防災・減災機能を有している。

上記施設の多くは高度経済成長期に整備され、耐用年数が超過するなど、老朽化が著しく、今後、施設機能の低下や突発事故の発生が懸念されている。一度事故が発生すると、農業への影響のみならず、都市部においても被害が生じるおそれがあることから迅速な対応が求められている。

そこで、大阪府の技術職員の立場で農業水利施設を適切に維持管理していくための課題とその対策を述べなさい。

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題1 土壤の水分定数のうち、初期しおれ点、圃場容水量、成長阻害水分点について、pF 値の大小関係を正しく表しているのはどれか。

1. 初期しおれ点<圃場容水量<成長阻害水分点
2. 初期しおれ点<成長阻害水分点<圃場容水量
3. 圃場容水量<初期しおれ点<成長阻害水分点
4. 圃場容水量<成長阻害水分点<初期しおれ点
5. 成長阻害水分点<圃場容水量<初期しおれ点

【正答：4】

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題2 耕盤に関する次の記述A～Dの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 耕盤の形成は透水性を高め、降下浸透を増大させる効果があるため、水田が有する地下水涵養機能を向上させる。
- B. 畑作農業では、耕盤のない圃場が好まれるが、水田農業では、心土と作土の間に耕盤を形成して苗を移植（田植え）する栽培方法が発達した。
- C. 湛水前の田面の耕耘などの作業では、農業機械の車輪は主として作土直下の耕盤によって支持されるが、湛水条件下で行われる代かきなどの作業では、車輪は主として作土層である表層によって支持される。
- D. 耕盤があることで、作土内での灌漑水や肥料の利用効率が高まり、水稻の安定した収量を期待することができる。

	A	B	C	D
1.	正	正	誤	正
2.	正	誤	正	誤
3.	誤	正	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	誤	正

【正答：4】